

月刊

あなたにこの本を！

令和6年10月号

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きめ



…中高生にも



…図・写真が多い

※価格のあとの（ ）内の番号は、大阪市立図書館書誌IDです。



パンダを飼ったらいくらかかる？



—妄想お金ガイド—

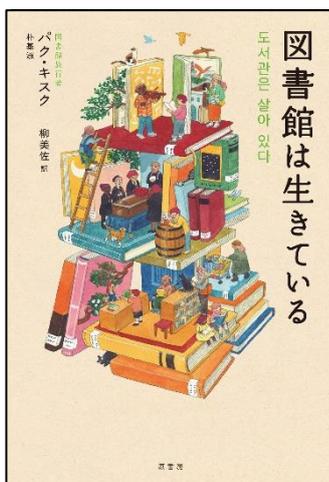
北澤 功 著

日経ナショナルジオグラフィック

1800 円 (0015461972)

ジャンル：知識・教養を深める

あこがれの動物ともし一緒に暮らしたら、どれほどのお金がかかるのかを、獣医師の著者が空想を交えながら描く。中国からのレンタル料が1か月600万円のジャイアントパンダや、餌のユーカリの調達が大きな困難をとまなうコアラ、回し蹴りを受けると人間が即死するほどの力があるキリンなど、お金だけでなく法律から飼育時の危険性まで、様々な面での飼育の難しさが伝わる。現実にはあり得ない妄想の数々を楽しみながら、動物の生態や特徴について理解が深められる。[480.7]



図書館は生きている

パク・キスク 著 柳 美佐 訳

原書房

2000 円 (0015447818)

ジャンル：暮らしにうるおいを

アメリカの公共図書館の司書だった著者が、世界中の図書館の日常とそこに息づく人々の姿をつづった。子どもの声がうるさいと苦情を言う利用者に耳栓を渡した館長、ホームレスの利用者がシェルターに連絡できる無料公衆電話がある図書館などのエピソードから、中世より各国でネズミ対策として採用されてきた「ねこの図書館員」の歴史まで話題は幅広い。図書館は本を読むだけでなく、自分とは異なる他者を「読む」場所だという著者の言葉を胸に、図書館探訪に出かけてみたいくなる。[010.4]

星空をつくる機械 —プラネタリウム100年史—

井上 毅 著

KADOKAWA

2400円 (0015434679)

ジャンル：歴史・文化に親しむ

1923年10月21日、世界初の近代プラネタリウムがドイツで公開された。100年の節目となる年に、明石市立天文科学館館長の著者がプラネタリウムを軸にした、星空に惹かれた人類のあゆみをつづった。古代文明に芽吹いた生活のための「天文学」から近代プラネタリウム誕生までの世界史と、大阪市立電気科学館から始まる日本のプラネタリウムのあゆみを、膨大な資料と幅広く行った取材をもとにまとめあげた。映し出された星空だけでなく、機械そのものをゆっくり眺めてみたくなる。[440.7]

給食の謎 —日本人の食生活の礎を探る—

松丸 奨 著

幻冬舎

960円 (0015451399)

ジャンル：子どもの成長のために

栄養教諭として小学校に勤務し、自他ともに認める「給食マニア」である著者が、給食の歴史、法制度そして現状を解説する。揚げ物は中心温度75℃を1分以上保つといった宇宙食レベルの衛生管理や、予算を使い切るために提供される3月の豪華な献立などの実情が紹介される。初任給で自宅に業務用オーブンを購入し、レシピ考案に心血を注ぎ続ける著者の情熱の裏側には、未来を担う子どもたちのためという、大人の責任感が存在する。読後、誰かと給食談義がしたくなる。[374.9]

ルポ無縁遺骨 —誰があなたを引き取るか—

森下香枝 著

朝日新聞出版

1600円 (0015446117)

ジャンル：現代社会を見つめる

多死社会が到来した現代、誰がどのように死者を弔うのか。死後事務を扱う事業者や自治体関係者に記者が取材した。身元不明者だけでなく、身元が分かっても世話をする者がいなければ、死者は行き場を失う。大量の遺骨が納められた無縁納骨堂の風景とともに、国の制度が整わないなかアイデアを駆使して終活をサポートする自治体等の取組も紹介される。誰かに託すしかない死後の諸々を不安のままにしないため、向き合うべき現実を示してくれる。[367.95]

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会
で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、
多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページ「あなたにこの本を！」でご覧いただけます。



「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。

1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=413